

鳥取市総合戦略策定に係る‘結婚・妊娠・出産・子育て’に関する
インターネットモニターアンケート調査結果

- 1 調査の概要 1
- 2 回答者について 2～3
- 3 アンケート調査結果 4～24

平成27年8月
鳥取市企画推進部政策企画課創生戦略室

1 調査の概要

(1) 調査の目的

人口減少の抑制と地方創生の実現に向け、本市の特色ある地域資源などを生かした取組を盛り込むことを目的に、現在策定中の「鳥取市創生総合戦略」について、人口減少問題に取り組む上で課題となる‘結婚・妊娠・出産・子育て’に関する市民の意識を把握し、今後の人口増加対策及び地方創生にあたっての参考資料とすることを目的とします。

(2) 調査方法

①調査対象

平成27年度鳥取市インターネットモニター 100人

②調査方法

インターネットを利用して送信

(3) 調査期間

平成27年7月16日(木)～7月27日(月)まで

(4) 回答者数

92人(92%)

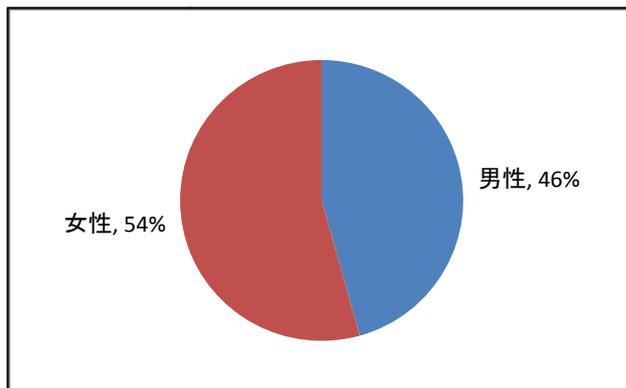
(5) 調査結果の数値について

百分率(%)は回答数を100%として算出し、小数点を四捨五入しています。
したがって図表及びグラフの合計が100%とならない場合があります。

2 回答者について

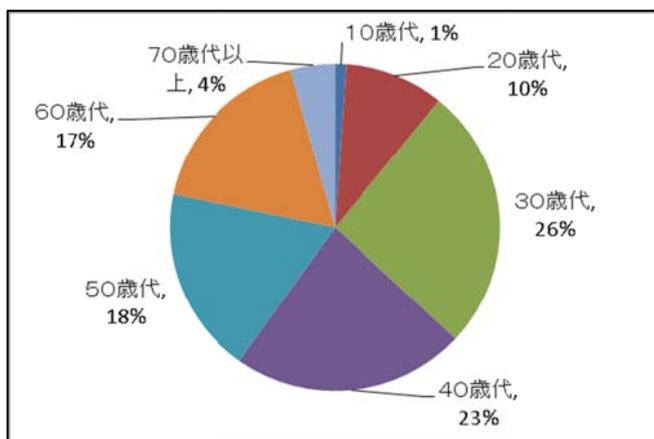
○性別

区分	回答数（人）	回答割合（％）
男性	42	46%
女性	50	54%
合計	92	



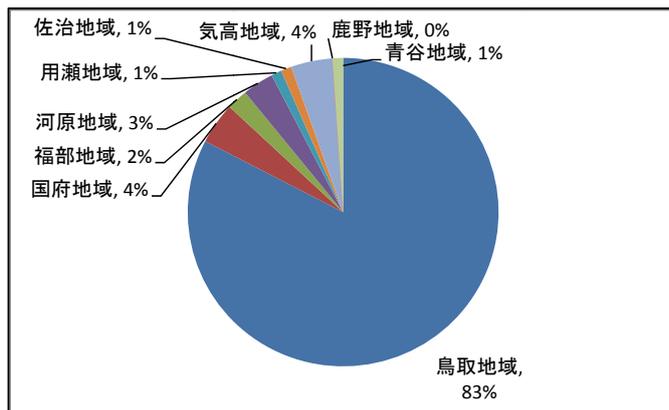
○年齢

年齢	回答数（人）	回答割合（％）
10歳代	1	1%
20歳代	9	10%
30歳代	24	26%
40歳代	21	23%
50歳代	17	18%
60歳代	16	17%
70歳代以上	4	4%
合計	92	



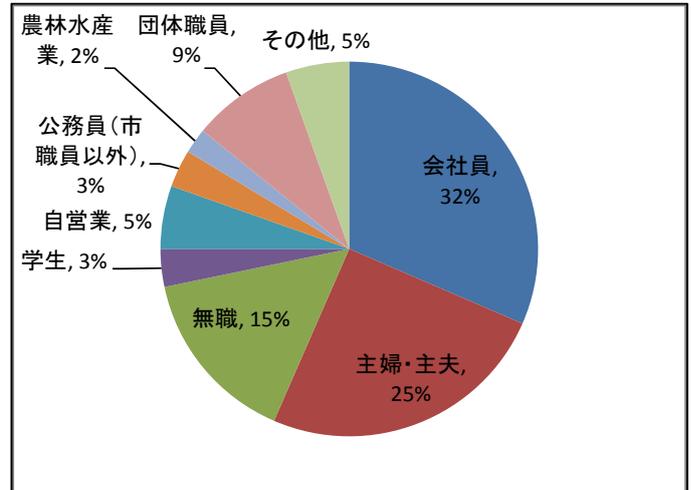
○住まいのエリア

地域	回答数（人）	回答割合（％）
鳥取地域	76	83%
国府地域	4	4%
福部地域	2	2%
河原地域	3	3%
用瀬地域	1	1%
佐治地域	1	1%
気高地域	4	4%
鹿野地域	0	0%
青谷地域	1	1%
合計	92	



○職業

職種	回答数 (人)	回答割合 (%)
会社員	29	32%
主婦・主夫	23	25%
無職	14	15%
学生	3	3%
自営業	5	5%
公務員 (市職員以外)	3	3%
農林水産業	2	2%
団体職員	8	9%
その他	5	5%
合計	92	

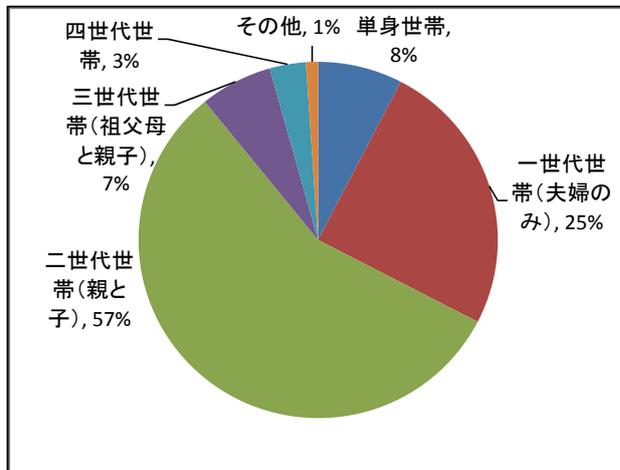


3 アンケート調査結果

(1) 世帯構成について

あなたの世帯構成について、該当する項目に一つチェックをつけて下さい。

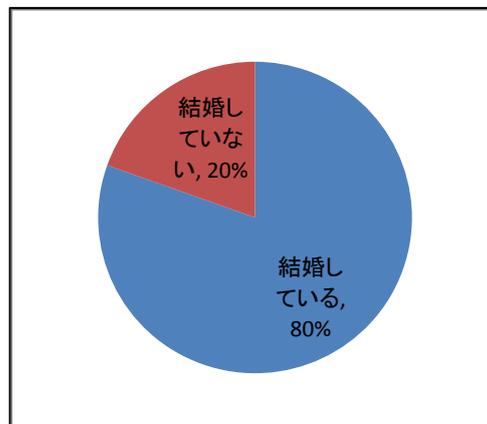
選択肢	回答数 (人)	回答割合 (%)
単身世帯	7	8%
一世代世帯 (夫婦のみ)	23	25%
二世帯世帯 (親と子)	52	57%
三世帯世帯 (祖父母と親子)	6	7%
四世代世帯	3	3%
その他	1	1%
合計	92	



(2) 結婚の有無について

あなたは今現在、結婚していますか。該当する項目に一つチェックをつけて下さい。

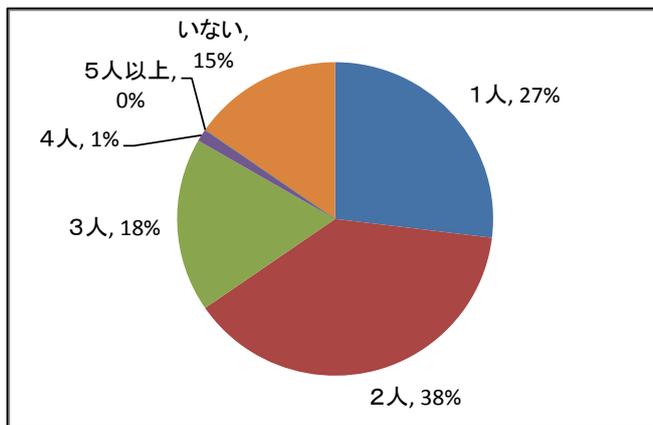
選択肢	回答数 (人)	回答割合 (%)
結婚している	74	80%
結婚していない	18	20%
合計	92	



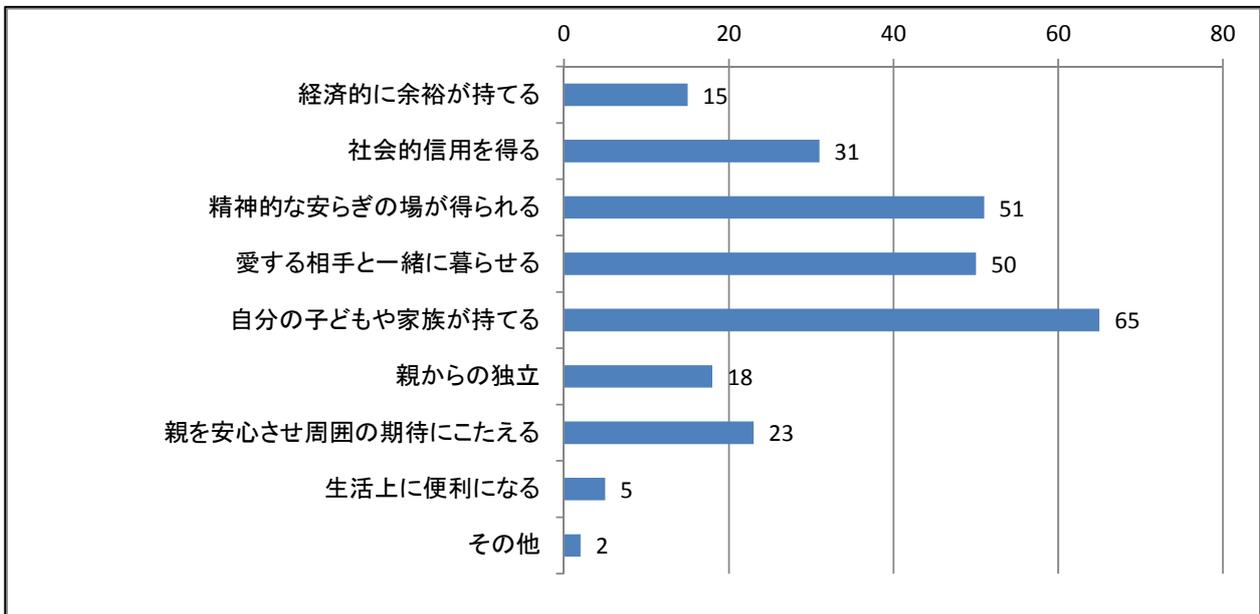
(3) 【結婚している方への質問】

現在、何人子どもがいらっしゃいますか。該当する項目に一つチェックをつけて下さい。

選択肢	回答数 (人)	回答割合 (%)
1人	21	27%
2人	30	38%
3人	14	18%
4人	1	1%
5人以上	0	0%
いない	12	15%
合計	78	100%



(4) 一般的に「結婚する」という要因は何にあると思われますか。該当する項目すべてにチェックをつけて下さい。



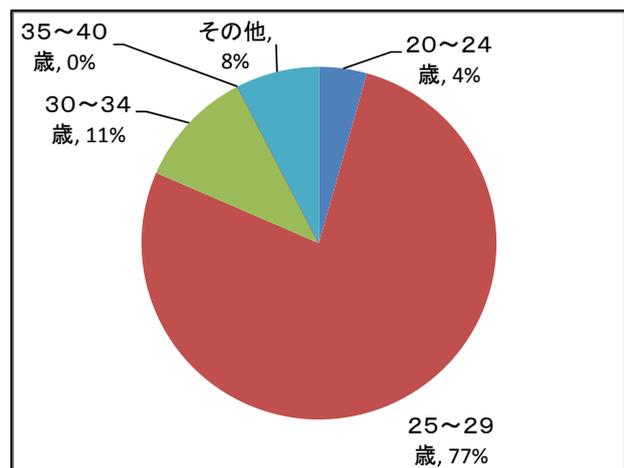
【その他意見】

自分の人生において、お互いに尊敬できる人と暮らすことで、自分の成長につなげることを求めて結婚をしました。

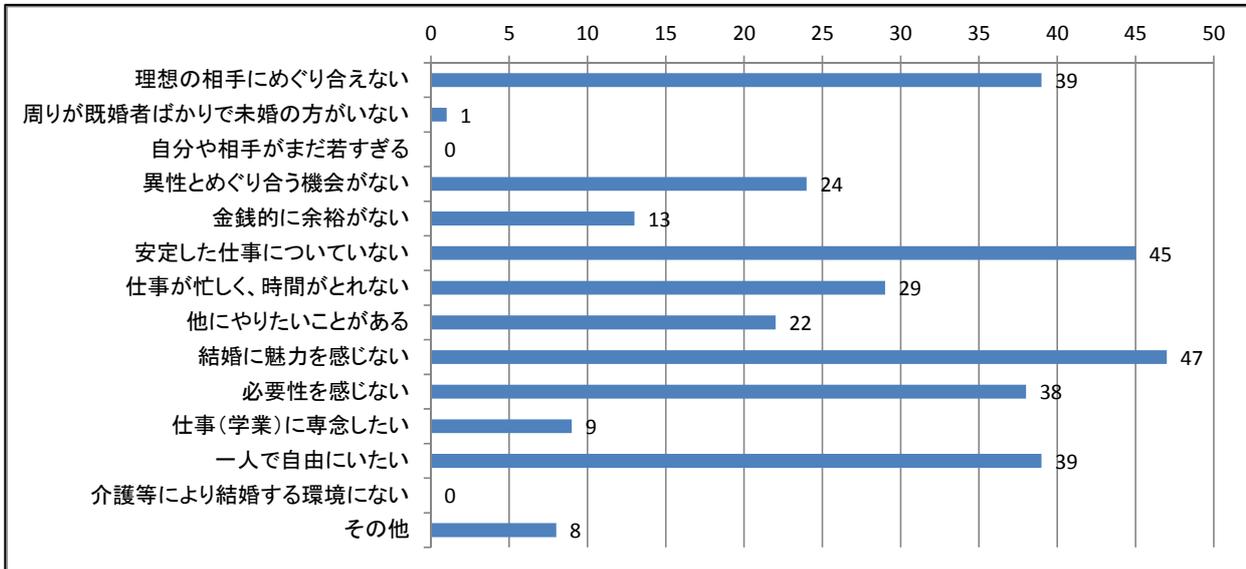
男女で異なる。女性は出産を考えて早い方が理想と考えます。

(5) 一般的に理想の結婚年齢は何歳だと思われますか。該当する項目に一つチェックをつけて下さい。

選択肢	回答数 (人)	回答割合 (%)
20～24歳	4	4%
25～29歳	71	77%
30～34歳	10	11%
35～40歳	0	0%
その他	7	8%
合計	92	100%



(6) 「未婚」「晩婚」が増えているといわれていますが、一般的にその理由はなんだと思われますか。該当する項目すべてにチェックをつけて下さい。

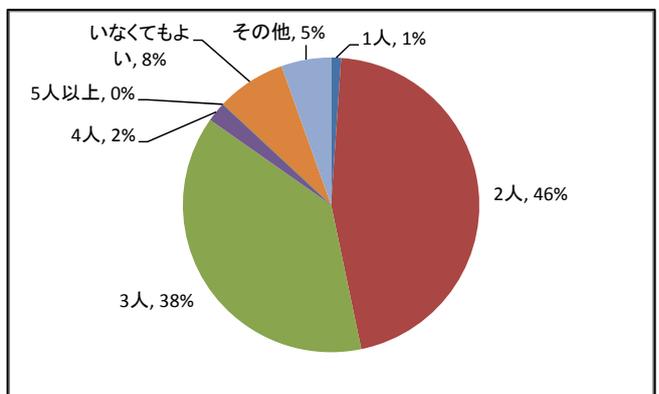


【その他意見】

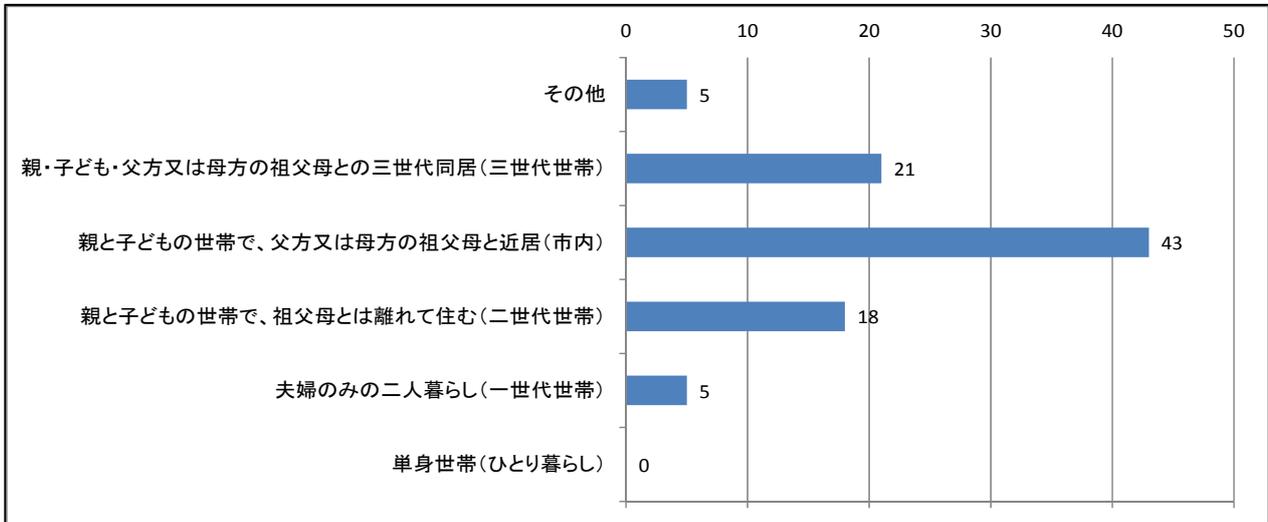
親の教育が悪いから。
紹介されても選んだ末に断る。選びすぎる。妥協しない。
積極的に結婚しようと言う気持ちが薄い。(消極的)
結婚しないことが許される風潮だから、相手を選ぶ余裕があるため。
そもそも結婚したい人を前提としている質問なので回答が変わる。
男女雇用機会均等法などにより、女性が〈家庭〉から〈職場〉に居心地の良さややりがいを感じるようになったため、結婚に魅力や必要性を感じなくなっていると思う。
理想が高い。
そもそも恋愛経験がない。異性と交際した事がない。異性との付き合い方が分からない。

(7) 一般的に家庭に何人の子どもがいることが理想と思われますか。該当する項目に一つチェックをつけて下さい。

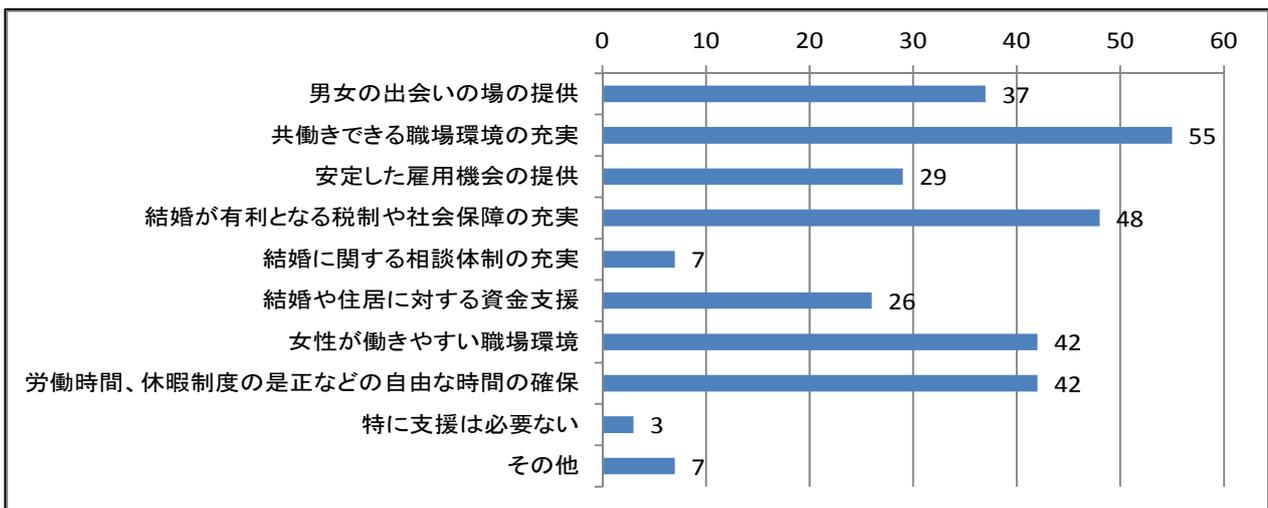
選択肢	回答数(人)	回答割合(%)
1人	1	1%
2人	42	46%
3人	35	38%
4人	2	2%
5人以上	0	0%
いなくてよい	7	8%
その他	5	5%
合計	92	100%



(8) 理想の家族の形態とはどのようなものだと思いますか。該当する項目に一つチェックをつけて下さい。



(9) 結婚への支援には、どのような施策が効果的だと思いますか。該当する項目すべてにチェックをつけて下さい。



【その他意見】

独身、結婚など色々な選択肢があってどんな生き方をしても良いと皆が認めることが大切。そうした中で、結婚することがより豊かであることを知ってもらえるような支援（取組）を。

個人の収入の底上げ。（経済対策）

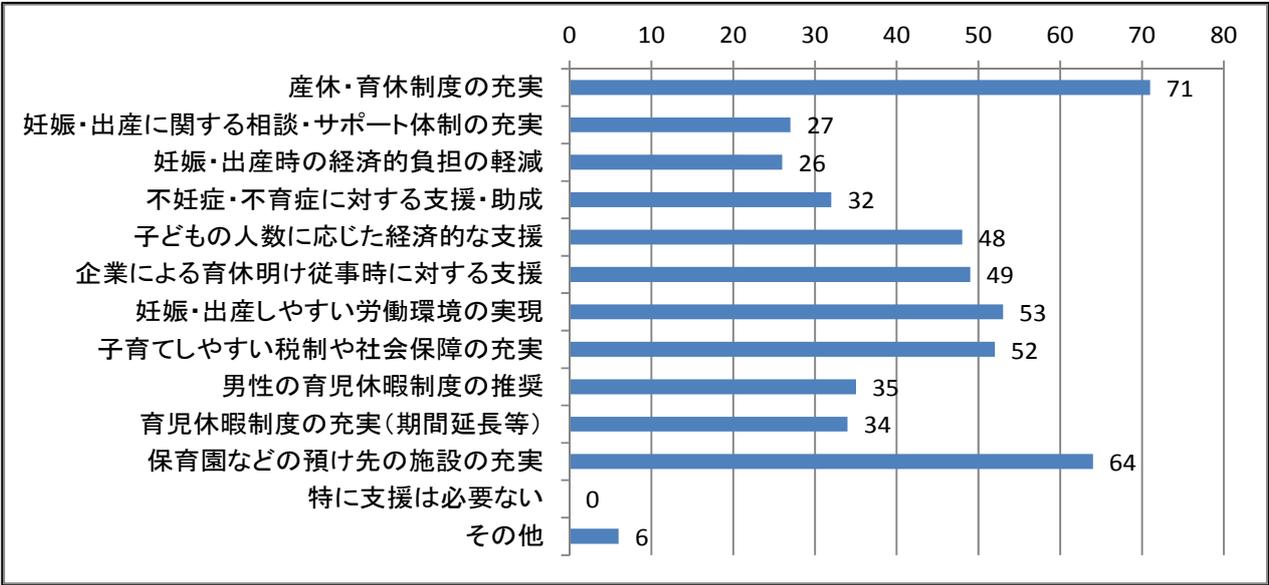
結婚して子どもを儲けることが一つの幸せの形態であることを学校教育の段階から教える。

行政が独身の男女を全て把握し（鳥取市なら全世帯）仲を取り持つような仕組みが良い。また独身の人には仕事を斡旋した方が良いと思います。いい仕事につかないと結婚はできない。

よくある婚活イベントのように不特定の人と一度だけ会う機会を与えても意味がなく、同じ人と何度も会う仕掛けをすることが大切です。若者がサークルとして集まれることを支援すれば、後

は同じ趣味のもの同士、勝手に結ばれます。
セミナーなど結婚についてのステップアップ勉強会などを行ってほしい。
結婚したいけど、どのようにすればよいのかわからない人が結構います。わからないというのは、自分がどう変化すればいいとか、直したらいい部分（身だしなみとか、空気の読み方や振る舞いなど）など、気づくことのできるセミナーがあればと思います。それが終われば、次の段階に行き、勉強会があれば良いと思います。
ワーク・ライフ・バランスの実現。
若者世代への経済的・社会的支援。

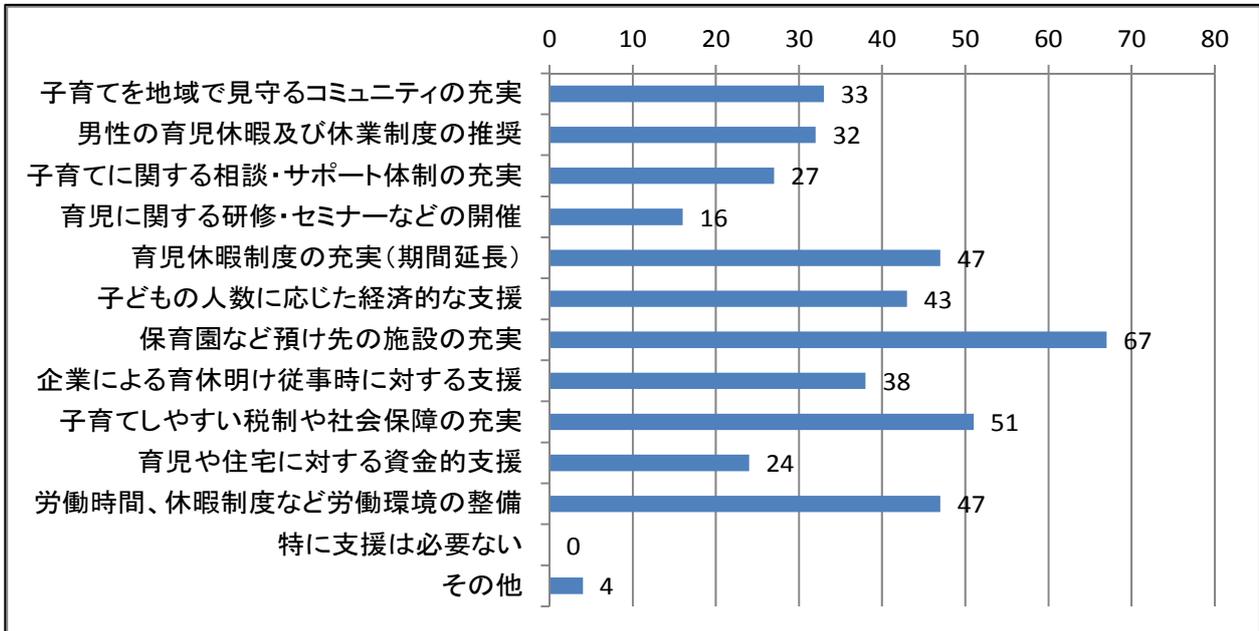
(10) 妊娠・出産への支援には、どのような施策が効果的だと思いますか。該当する項目すべてにチェックをつけて下さい。



【その他意見】

妊娠した人には市民税の優遇、税金の優遇をしたら良いと思います。
一時的なバラマキのような給付などではなく、ある程度継続的に支援を受けられるような体制、給付が必要。
経営者や上司の意識改革が必要。
第一子からの手厚い経済的支援。
婚姻関係に限らず、すべての子どもを社会・地域・国家が育てる施策。
育児休暇中の経済的支援。妊娠・出産・育児時の男性の労働環境の支援(残業の減少、時短勤務等)。
性教育の充実。不妊症、不妊治療などの知識も含めて。望まない妊娠による中絶を防げるように。各自が理想とする人生設計が思い描けるように。

(11) 子育てへの支援には、どのような施策が効果的だと思いますか。該当する項目すべてにチェックをつけて下さい。



【その他意見】

鳥取市は病児保育が手薄です。病児シッターも初期登録費用が高く、登録に二の足を踏んでいます。
共働き世帯の病児の入院による仕事で休暇を取ることにによる支援。企業側に支援。
親の社会的、経済的影響を受けず、すべての子どもを社会の財産として育てる法整備。
男女とも長時間労働をしなくて良い風潮。

(12) 子育てを地域社会で支えることについてどう思いますか。あなたのご意見をお聞かせ下さい。

登下校時の地域の見守り。
子どもの誘拐が近年多発しているので、安心して子どもが外出できる環境をつくる必要がある。
地域住民が協働して、地域の子育てを考える会などの組織化が必要だと思います。
暮らし始めてからのコミュニティづくりが大切。新しい人や家族を受け入れる側が大きな気持ちを持ち、つかず離れずという関係を保ちながら支援していく体制が必要ではないか。
地域の皆さんの声掛けなどが大事だと思うが、そこまで信用できる時代ではなくなってきているので、なかなか難しいと思う。
総論としては賛成だが、親としての責任を理解してから成立するものだと思う。
他人に子どもを預けて安心と思えるような意識の形成、まずはそこから始めてみてはどうか。
お母さんの精神的不安や負担が軽減できる活動が増えると良い。
ある程度は地域の支援体制も必要と思うが、過疎化とか三世帯家族の減少に歯止めをかける施策が望まれる。
子育てのサポートなどの行政サービス。学校の三者面談等の回数を増やし、いじめの問題や非行について

て話し合うべき。
地域で子どもの防犯や危険な場所などを話し合うべき。
核家族が増えてきたので心強いと思う。
相談する場の提供が必要。
自分が育った地域以外なら、子どもが生まれてから地域との繋がりが始まるので、入りやすい仲間・地域づくりが必要だと思う。今、どんな人がどんな活動をしているのかわからないので不安。
小さい子どもが騒いでも迷惑だと思われない社会づくりが必要。禁煙エリアの拡大（飲食店など）、一時預かり施設の増設、ファミサポ利用時の助成金など。
初めて主婦としてアルバイト妊娠、流産を経験し、女性の場合の就職(アルバイト含め)のタイミングが難しいと思いました。子どもは欲しいが、妊活しながらの就活は就職先に迷惑がかかるとともに、夫の収入だけでは貯金も出来ず、将来の子どもの事、老後の事を考えると働かなくてはいけない。しかし妊娠すると就職先に迷惑を掛けるなど悩みました。結婚を期に退職し、他県から鳥取に引越したので、周りに相談する友達もいません。どこでも同じだと思いますが、妊娠と仕事を安心して両立出来る状況ではないというのが、日本の現状だと深く思いました。 今後妊娠し、子育てをする事になっても急な呼び出し等で就職先に迷惑を掛けるのは不安です。少しでも地域社会での支えがあれば、少しは安心して妊娠と就職ができるのではと思います。
子どもが安心して遊べる施設や親の悩みの相談を気軽に話し合えるサロンのような施設があれば良い。
子育て家庭への公的な支援（例：税を軽減、保育施設費用の援助等）が必要であると思う。
相談しやすい家族や友人がいれば良いけど、いない場合は気軽に相談できる人が近くにいる環境があることが重要。防犯面でも、最近はとても物騒だし、虐待なども心配なので、地域で子育てに協力し合う体制はとても良いと思う。でも、あまりにそのような環境になりすぎたら、人によっては負担になり、逆効果だと思う。
夏休みなどの長期休暇時に小学生が参加できるイベントを地域で増やして欲しい。
本来であれば（昔であれば）、親が家庭で子どもにすべきことを学校などに求めるような親が増えている。地域で子育てをサポートするには、きちんとしたルールづくりが必要である。
仲間作りが大切。
子育てに困ったときに 立ち寄ってアドバイスが受けられるような施設がもっとあると良い。
家庭ごとの閉ざされた子育てではなく、地域で子や親に声かけあえる環境づくりが必要。
保健師さんが家まで来てくださったことがありましたが、とても助かりました。もっと回数が多くてもいいと思います。
核家族が殆どなので、年配者の助言や相談ができる仕組みが必要。
子育てをする環境（給与面、休める環境、家族の理解・学校・地域・職場など）がもっともっと改善が図れないとなかなか少子化の改善を図ることができないと考えます。
町内会をもっと活用できないかと思います。
資金援助など金銭面の支援が大きい効果だと思う。

<p>I ターンの夫婦が、共働きでも子育てができるような行政等周囲の支援制度の充実。</p>
<p>母親の負担軽減を図れるように地域で支援するシステムの構築（母親が自由時間を持てるような体制づくり等）。</p>
<p>子どもが地域の行事に積極的に参加したくなるような環境づくり。地域の人が子どもの顔を覚えてもらうような機会を増やすこと。</p>
<p>子育てについての悩みを自由に相談できる場所の提供が必要だと思います。</p>
<p>子どもの数が少なくなっているので、地域の親子が触れ合う機会をつくってコミュニケーションを取れる様にする。</p>
<p>校区、町内会等、同様の子育て環境の方の意見を聞くなど助言を受ける機会を設ける。</p>
<p>安全な子育て環境の確立。</p>
<p>うちの地区は子ども会とかがないので、あればよいと思います。</p>
<p>自分が住んでいる方の交流(出産前、出産後)。</p>
<p>県内のママ友と仲良くなる場所をネット上につくると積極的じゃないママにもママ友ができる可能性がある。</p>
<p>地域全体で子どもたちを育てることは、とてもいいと思います。しかし、それ以上に育てている親世代は、地域の方で支援がされていることも意識していくことが大切だと思います。そのことで、子育てを卒業した後もその意識は、次の子育て世代への支援意識の向上につながり、とても良い連鎖につながると思います。子どもは、地域の宝です。率先して支援していただけるととても嬉しいです。</p>
<p>子どもは親が育てるのが基本。必要に応じて皆で支援もあり。</p>
<p>出産は女性だけの特権であるが、男性の理解が不可欠。</p>
<p>核家族が増えているので、妊娠、出産、子育ての相談・サポート体制の必要性を感じる。</p>
<p>地域社会で支えようという姿勢は良いが、過干渉やおせっかいにならないよう、適度な線引きをし、ビジネスライクにすることが必要だと思う。田舎ならではの距離感だと息が詰まるのでは。</p>
<p>何でも気軽に相談できる施設の充実。</p>
<p>まず「顔の見える人間関係」を築くことが重要で、町内会活動の充実は欠かせません。また、まちづくりの拠点として公民館を充実発展させるために施設設備の整備もですが、人的・経済的支援は不可欠。</p>
<p>60歳以上の方から今の子育ての方法は昔と違うから助言・手伝いはできないという声をよく聞きます。祖父母世代の勉強会なども必要かと思います。</p>
<p>親も子も孤立しないように情報交換、交流の場をつくる。地域の公民館等で育児サークルがあると良い。</p>
<p>単身者、子どものいない夫婦なども含めて、子どもを育てる環境づくりが必要。</p>
<p>小学生の学童保育の充実を望みます。</p>
<p>気軽に利用できるコミュニティが必要。</p>
<p>なんでも相談できる仲間づくり。</p>
<p>子どもがいる家族が集えて情報交換できる場の提供が必要。図書やおもちゃがあるなど。</p>
<p>地域の人と話し合い、保育園などを充実させれば親は安心して仕事に行けるので、地域の人と協力すべ</p>

きだと思います。
地域ごとの子ども会の充実。
相談等のサポート支援の充実は必要。
子育ての悩みなどについて相談し合える仲間づくりが必要。
働く女性の育児や悩みについての相談窓口が必要だと思う。
子どもがいないのでよくわからない。
子ども会、町内会、地域住民との交わりの機会の増加。
誘拐など最近多いので、防犯活動は適宜行うべき。
保育園の施設を増やす。
相談できる場があっても、実際には相談しにくい。
助け合いの精神が必要である。
子育てを地域社会で支えることはとても大事で必要なことだと思います。 特に未就園、未就学児の親は情報交換の場が欲しいと思うので、地域の公民館等で親子クラブなどの活動があると助かります。そこに地域の老人会の方などの参加があると子育て相談ができるなど、地域の情報がいただけるので、とてもいいと思います。
安心して子育てができる環境（例えば、無料で利用できる子育て施設や遊具などが充実した公園）があれば良いと思うが、必要以上に地域や学校との交流を迫られる環境は、支えているというより負担でしかない。（他県よりも地域や学校からの強制的な行事が多い）
公民館などの地域施設を利用した子育ての人たちがいつでも気軽に集える場所の提供。
子育て中の両親より豊富な経験と知識を持った祖父母世代の人との交流の場を定期的に設ける仕組みが必要と感じます。両親と異なる年代の人との交流を通じ、子どもが日頃触れることの無かった話題や新たな日常生活に触れ、見聞を広める活動を提案します。
子育てで誰にも相談する人がいない、親が離れていて頼る人がいないという友人も多いので地域の公民館などで交流の場をどんどんつくってほしい。
昔のように隣近所と顔見知りではないので難しい面もある。大人同士が知り合いではないし、他者に子どもを預けることに不安が大きい。
家族だけで子どもの安全を確保するのが難しい時代になっているため、地域全体で子どもや高齢者を見守っていく仕組みを行政が積極的に働きかけないといけないと思う。全てをボランティアで賄うことは難しいと思う。
地域で子育て施策として子育て王国とっとり条例があり県、市町村、事業主、県民、保護者などの役割が定められている。絵に描いた餅にならないように推進すべき。
子どもが遠慮なく遊べる場所を提供してほしい。
親と子どもが気軽に寄れる場所の確保。
子どもが安心して過ごせる環境づくり。
異世代の交流機会づくりが必要。

(13) 現在策定中の鳥取市総合戦略では①次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’②誰もが活躍できる‘しごとづくり’③賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’を戦略の柱に鳥取市の強みや優位性を生かした施策を盛り込む予定です。①次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’では、「教育の充実・郷土愛の醸成」、「結婚・出産・子育て支援」などに関する施策を盛り込む予定です。これに関して取り組むべき施策や事業等について、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

結婚や育児がしやすいまちづくり。在宅ワークの情報提供など。
大学において県外に出てしまう事が多く、県内大学への進学者へのメリットを設けることが必要。
教育の充実と、教育格差の件を真剣に考えることです。
中山間地域に住んでいて、私自身はとても気に入っているが、子どもたちはどうだろうと思う。自転車で中学校に通い、冬は午後5時には真っ暗。外灯もない道を真冬に帰る日々が郷土愛を育めるのか。辛いとしか思えないと思う。子どもたちにとって、行政から守られていると感じる施策をしてほしい。
理想だけ掲げるのではなく、実行可能な現実性が必要だと思う。
鳥取らしさを目指して全国一律の制度活用と地元の安心感を形成する策が第一優先と思います。
マタハラの実態調査。企業の子育て協力が何より重要だと思います。
大家族制志向、過疎化対策、それらのための経済的環境（雇用創出、農山村振興）が肝要と思う。
県外で就職、結婚をしても帰郷して安心して出産できるように、費用や子育てに対する悩みに対応できる、地元に戻って来たくするような行政。
若い人に魅力ある職場と賃金の充実。企業の誘致。
若い人が安定した仕事につけるような対策を考える。
子育てがしやすい環境づくり。
婚活はもちろんだが、妊活に特に力を入れてほしい。不妊治療の補助金がとてもありがたかった。
実際に結婚、出産、育児を経験している人への聞き取りやアンケートを行い、問題点を改善する。小学1年からの英語教育を行い、英語で鳥取を紹介できる人材を育てる。(教材を工夫)
スローガンはいいが具体的、誰にもわかりやすくした方がいい。例えばいろんなジャンルの仕事が選べるようなまちとか。
鳥取には素敵な場所、ものが沢山あります。しかし、元々鳥取在住の主人には当たり前で、興味や感動することがなくなっています。地元の良い所を『再発見』して、誇りに思うのは素晴らしいと思います。そうすることで他県へ自信を持ってアピールできると思います。ちなみに私が最近発見した鳥取の魅力は夏泊の奇岩、蛸、牛骨ラーメンです。子育てについては安心して就職、妊娠ができる環境づくりや支援が必要だと思います。
鳥取市内の義務教育の課程に人づくりのプログラムを組み込む。
子育ての手当などの充実を期待する。鳥取に引っ越してきて、子どもの医療費が無料でないことにとってもびっくりした。保育園、幼稚園での兄弟での金銭面での補助をもっと充実して欲しい。
保育園、学童保育の拡充。

<p>都会に出たからといって、「得るものが多い」、「幸せである」とは限らないということに気づくべき。地域の公的な機関の人が、都会（県外）と鳥取を比べすぎ。「鳥取には何も無い」的なスタンスでの発言などは慎むべき。</p>
<p>子どものときから郷土愛を育む教育をする。</p>
<p>子どもや若い世代に 鳥取の良さを実感できる体験の機会をつくる。</p>
<p>人とのつながりのきっかけになるようなことを提案することも必要ではないかと思う。つながりのあるまちは暮らしやすいまちだと思う。</p>
<p>色々な世代が交流できる仕組み。</p>
<p>結婚・出産・子育て支援の具体的な施策が重要であると考えます。公務員を対象にしたお見合い合コンなどは根本的な改善につながらないとなぜ思わないのでしょうか。</p>
<p>出産・子育てにおける金銭的援助。</p>
<p>仕事をしながら、安心して子育てできる体制づくり。</p>
<p>土曜日授業。</p>
<p>結婚・出産・子育てなどの悩みを電話で無料相談できる組織づくりが必要だと思います。</p>
<p>結婚しない・できない人が増えているので、結婚を応援する支援。子どもができない人が増えているので、不妊症の支援。</p>
<p>掛け声倒れにならないように願っております。</p>
<p>道徳教育の充実。鳥取で働くことの素晴らしさを子ども達に伝える。</p>
<p>保育料軽減、学童保育の充実、病児保育の充実。</p>
<p>各集落が各々に集落内が仲良くできるようにイベントなどをすると活性化し、子どもと老人が仲良く暮らせるので、そういった取組を促進する。助成金などを出してやる気を起こさせる。</p>
<p>人づくりは、とても大切だと思います。教育の充実はもちろん、青年への支援も行うべきだと思います。せっかく、教育を行ってきても途中で「はいがんばって」では効果が薄いと思います。継続した郷土愛を育み、地域リーダーを育てる政策が不足していると思います。素質がある方が多くいるのに、現代の地域に生かされていないのが非常に残念です。青年団体が育つ施策や支援を行うべきです。</p>
<p>鳥取市の良さを再確認し継承する～歴史、将来の位置づけなど。</p>
<p>子ども達が自分の住む町を誇れるような取組が必要。</p>
<p>智頭町で取り組まれ、他県でも注目されている幼児の自然環境での触れ合い育児をもっと広範囲に勧め、教育をすればいじめや偏見のないひとづくりにつながると思う。</p>
<p>教育、結婚、出産、子育て、どれをとっても経済的にゆとりがないと難しいと思う。自治体が補助金を出すことも必要だが、そもそも個々人の所得が低いことがすべての要因なのでは。所得を上げるためには、賃金水準の高い上場企業を誘致して雇用を増やすことが必要だと思う。</p>
<p>未婚、晩婚が増えている原因は、将来の子育てや子どもの教育などに不安を感じるからである。子どもを産んでも安心して育てられるという施策が望まれる。</p>
<p>派遣労働が話題になりましたが、安定した職場とするためには、当事者が選択できるような環境を整え</p>

<p>ることが重要です。また、いつまでも住み続けることができるまちづくりとしては、介護が必要となる手前の健康維持環境を整えることが必要です。鳥取方式健康プロジェクトプランとしてハード・ソフト面での計画的・組織的ビジョンが必要です。</p>
<p>教育の充実という点では、失礼ではありますが教師のレベルが今一つだと感じています。学校が魅力的でないこの町で子育てしようとは思いません。</p>
<p>鳥取の歴史や産業、郷土芸能などを学校、地域で学ぶ機会をもつことで、自分の住んでいる町を理解する。鳥取学？コンテストなどのイベントを企画しても面白いのではと思う。</p>
<p>地域全体で子育てを行う環境づくりを行う。</p>
<p>誰もが自慢できる鳥取市になるよう子どものうちから いいところを見つけたり実際に行ってみたり触れたりすることが大事。</p>
<p>鳥取環境大学との連携パイプを更に強力にする。卒業後の受け皿である企業の基盤が弱いことが問題となっているが、大学と更に連携し、地元に必要な学生の育成を計画することが必要だと思えます。</p>
<p>あまりにも個人主義が良いとされる世の中になっているため、独立して親とは別居する世帯が多い。このことが原因で、両親、祖父母からの知識、教育を受けることができなため、世間を見る目が狭くなっている。三世同居をすれば、経済的にも合理的である。</p>
<p>子育て支援の充実。</p>
<p>鳥取の人は、自分の住んでいる地域に自信を持っている人は少なく、劣等感を抱いている人もいる。若い人が魅力を感じる点は少ない。高齢者や中高年を優遇するのではなく、若者に定住していただく社会保障や税での大幅な優遇を進めることが望ましい。</p>
<p>高齢者が子育てに加わる施策が必要だ。</p>
<p>保育園、幼稚園を増やすことと、できるだけ費用を安くすること。</p>
<p>鳥取の歴史教育。伝統行事を地域だけでなく学校も含めての参加。子どもを増やすごとに手当が増える制度の充実。1人目は無にして、その財源を3人目以降に充てる等。</p>
<p>病児保育の促進。</p>
<p>子どもの時から、各種行事への参加を増やす。</p>
<p>家や趣味にこもりがちな独身の働き盛りが大勢います。研修やセミナーには引っ張り出すことができません。仕事の延長やアルバイトであれば、出向く可能性があります。職場での研修で出会って結婚した方達があります。各会社が「出会い」の名目はずした時間を設けてはどうか。家に引きこもりがちな方には、魅力あるイベントが必要かもしれません。</p>
<p>高校を卒業して、県外に出る子を減らせるように、就職先、地元大学の魅力をどんどん増やしたほうが良いと思う。</p>
<p>より多くの方が参加できる工夫が必要ではないか。</p>
<p>学校の授業の一環として社会見学や体験をさせ、企業側にも協力してもらい、地元で就職したいと思ってもらえることが大事だと思います。子育てに関しては、私が鳥取市に転入して1年半ですが、ずっとここで育てたいと思うほど素敵な場所です。環境としては、助けてもらえる身内が近くにいないので仕事を探しにくいと感じています。子ども（小2）が体調を崩して学校を休む時だけでいいので見てくれる</p>

<p>人がいれば働けるのと思います。</p> <p>今月始まったテレビドラマで「37.5℃の涙」というのがあります。訪問型病児保育士の話ですが、そういうのがあれば助かると思います。</p>
<p>鳥取市に転入してきて、子育てを含む「ひとづくり」に関しては、他県よりも積極的に行っていると思う。が、一方的に押し付けられていると感じることも多く、郷土愛が生まれるということはない。</p>
<p>小・中・高において、地元にある地域資産(文化、歴史など)を学び、体験する機会を持ち、鳥取を誇れる人を育てる。</p>
<p>寡婦・寡夫であっても子どもの将来を毀損しない制度。</p>
<p>鳥取は田舎で古い考え方の経営者が多い。女は子どもができたなら家庭に専念すべき等の考え方は古く会社は強制的にでも産休、育休が取れる制度をつくるべきと思う。産後は時短勤務など働き方を選べるような選択肢を与えてほしい。産後でも子どもが小さくても受け入れてくれる職場、求人をもっと増やしてほしい。</p>
<p>若者はいるが、労働環境、経済面等で若者には厳しい土地だと感じている。サービス残業は当たり前で、働いても生活していくのがやっとで結婚や子どもをつくるといった余裕がない。経済的、時間的余裕のなさから子どもをあきらめる場合もある。”人を育てる”前に,”人を産める”環境づくりが必要。</p>
<p>保育園、幼稚園からの教育の充実が必要。今の世の中、共働きでなければ経済的に難しい家庭が多く、0歳児からの保育園利用も珍しくない。働いている親は子どもと関わる時間が限られ、家庭の中で教育の充実を図ることが難しく、習い事に通わせることも難しい。保育園での教育の質が向上したら良いと感じる。子どもと先生の割合も充実させて欲しい。年少になると、先生の数が極端に減り、子どもに対して十分に関わるのが難しく、各自の個性を伸ばしてあげるまでの関わりを持っていないと思う。</p>
<p>まず、出会い、結婚、出産、子育てなど婚活の応援(プロゼクト)妊娠・出産・性に関する正しい知識に関する普及啓発を行う。教育の充実(県独自)等既存の制度を活用すべき。</p>
<p>海も山もある自然豊かな土地で子育てしやすい環境であることをアピールしてはどうか。</p>
<p>面倒な施策より、「スーパー公務員」、「やる気のある人材」を発掘しよう。</p>
<p>支援策やイベント情報が広く周知できる仕組みづくり。</p>
<p>鳥取環境大学を看護大学にするなど、もっと地元に必要な人材育成のできる学科にする。</p>

- (14) ②誰もが活躍できる‘しごとづくり’では「経済再生・成長産業の創出」、「地域資源を活用した産業全般の底上げ」、「地域経済における人材還流と育成強化」などに関する施策を盛り込む予定です。これに関して取り組むべき施策や事業等について、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

<p>給与水準の向上が必要。</p>
<p>地震等の自然災害が少ないというメリットを生かし企業を誘致することが良い。幸い、国公立共に大学が存在するので、学生がそのまま鳥取に根付く努力が必要。</p>
<p>地方創生にも基づきイノベーション型のモデルプランの作成はしてはどうか？</p>
<p>「誰もが活躍できる」って、そんなの無理！誰もが誰かの役に立つという方が現実的です。大勢の人の</p>

役に立つということも大切だけど、誰か一人のためにも役に立つことがあれば、それは大切な存在意義になる。人を誰もが認めれば、どんな小さな仕事でも誰もが活躍できるのでは。
まず、若者が地域に定着する施策から充実させた方がよいと思う。
ロボット系と言いたいのが産業集積がない以上、優先順位として年寄りと女性を活用するために、パワースーツ関連企業、その導入支援策、鳥取版活用推進策を立ててみてはどうか。
施策に異論はないが、地方においては特に（国政に反しても）「格差拡大、弱者切り捨て」に抗する施策を強力に進めて欲しい。地方では”公務員だけが恵まれている”と感じる。
最低賃金の底上げ。魅力のある企業の誘致と税制の低価格化。収入源の見直し。
観光以外の経済再生の柱を明確にする。若い人の県外の人材との交流。
若い人が希望をもてるような産業を創出すること。
生きがいをもち仕事に取り組める環境。
鳥取で起業する人、鳥取の「もの」を発信する人を応援してほしい。
国や県、市、商工会などが行う起業支援制度を広く周知させる。起業助成金を増額、または機会を増やす。子どもの職業体験の機会を増やし、早期に自分の天職を発見できるようにする。
スローガンがわかりにくい。具体的に何をするのか伝わってこない。今までの実績がよくわからない。
最近ゴディバやスタバ等、色々出店されましたが、他県にあり鳥取にはない店舗が沢山あるのはなぜかと考えてみました。そこで思ったのが流通の問題。大企業の店舗は、流通センターから小売店に配送するセンター配送を利用されています。センターから小売店までの交通の便が悪いと配送料がかかります。そうすると企業側は出店を躊躇されます。企業誘致のためには、流通環境の整備が必要だと思います。同時に流通環境が整うことで鳥取県側から他県への流出も今よりも安易になるのではないかと。また身の回りの産業で言うと、鳥取砂丘の砂を使った砂文字（砂をアルファベット型に固めたもの）が販売されていました。とてもステキで文字を並べて表札にしています。青谷和紙を使ったランプ、鹿野の「うまもなど」等、鳥取は素敵な産業が沢山あります。もっと他県にアピールすると良いのと思います。
市として推進すべき成長産業を考え関連する企業の誘致、人材を呼び込めるような公的支援を行う。
働く時間にもっと融通のきく仕事があれば良い。働きたい子育て中の女性にとって、この時間帯がもう少しこうだったらと思うことが多いので。
企業の誘致、および中小企業の支援。
鳥取の持つ良さ、鳥取だからできることを積極的に取り入れていく取組が必要。自然の産物なども多いという土地柄を活かせるように。
大都会は仕事をやる場所ではなくなっている。遊びに行く所の一つ。魅力ある地域づくりを。
市街地の空き店舗などを活用して仕事を創出する。
メタンハイドレード活用の人材育成をより充実させる。
得意なことを登録して活用できるようなシステムをつくる。
誰もが活躍できることも重要ですが、若い人が2～3つの仕事をしないと結婚生活、子育てが出来ない現状を改善する工夫が必要と考えます。それ以前に若い人がどれだけ改善してほしいかをアンケートあ

るいは調査をする必要を感じます。
60歳を超えてからの仕事（今までの経験や知識を活用できる職場）を増やしてほしい。
企業側の若者を育てるという意識の向上が必要。市と企業が協力して育成を強化するようなイベントや動きなどがあると良い。
総合戦略をよく知らないが、台風等の災害被害を受けにくい地域性をアピールするべき。
経済的に安心してらせる職場環境づくり。
正社員の増加。
まず鳥取に企業を誘致して自由に仕事を選べる枠組みづくりが必要だと思います。
企業、起業の会社に協力してもらうように市からも協力依頼することが大事。
地場産業の育成。
県外就職した30代未婚女子をターゲットとして就職相談と人生プランを考えるイベントが開けたら、Uターンの可能性が高いのではと思います。
企業と行政の協力。
20代後半、30代の男性で仕事ができない人が多い。女性の方が断然しっかりしている。20代前半に厳しい会社に入っていないからかもしれないので、そういう厳しい職場環境で働くことを提供し、認定証を発行することにより履歴書に記入でき、企業側が採用する判断材料の一つになるといいと思う。
現在、第一次産業をはじめ多くの優良経営者が後継者不足に悩んでいると思います。そういった後継者をつなぐ施策を行い、地域の企業を継続する施策（マッチングなど）に取り組むべきだと思います。経営者候補育成事業など。
第一、二次産業の活性化～生産から販売まで一元化するとともに従事者の技術を若者へ継承する。（高齢化による）技術者を再生し雇用するとともに跡地の利用。（サンヨー電機の撤退関連）
地元企業だけでは雇用の数が少なすぎ、所得も低いままであり、賃金水準の高い上場企業を誘致し、現状よりも賃金を上げていくことが必要だと思う。
若者がやりがいをもって就職できる場をもっとたくさんつくること。若者の県外流出は防いでほしい。
鳥取の強みを生かしたIT関連・研究機関とうの誘致に軸足を置くべきです。また、そこで働く家族の住環境の良さをコンセプトにした企業にとって魅力的な誘致活動を展開する必要があると思います。
現在の仕事と関連のある職種をマッチングできる機会をつくれると良いと思います。
企業誘致（IT産業などの物流に左右されない企業）、特産品のブランド化（それぞれの商品売るのではなく、「鳥取ブランド」として、ある一定レベル以上の物にロゴをつけて売る。→広告の専門家にアドバイスをもらいロゴマークの作成や売り方を考える）、地元の産業を支援するよう県内外からの人材育成、確保を積極的に行う。留学生の受入を行う。
ものづくりから脱却した新たな産業の創設、育成。（モノ以外の資産を産み出す産業など）
自信も持たせてつくっている作物、商品をもっとクローズアップして支援も含めバックアップすることが必要。
地域の智慧を出し合う機会の提供がポイントだと思います。鳥取市、県全体で様々な分野でアイデアを

出し合える機会を提供する。
雇用の創出の必要性
駅周辺に、手に職を持つ人のお店を多く出してほしい。普段は、山間部や鳥取中心部以外で働いている人もイベントを商店街などで開いて、色々な人に知ってもらうことが大事だと思います。
鳥取市は、ほとんどが中小企業で構成されている。組織が小さいほど企業の改善がしやすい。このことから、専門コンサルタントを雇えるよう分厚く補助をするとともに、人材として都会で働いていた鳥取市出身のOBを呼び戻し、各企業のオブザーバーとして協力してもらってはどうか。
失業者への支援。
人口が減り、多くの地方都市が消滅する可能性が示されている中、既存の産業にこだわり続けてはいけない。若者に新たな発想で自由に組み込んでいただくべき。ただし、役所が主導すべきではない。バックアップする体制を整えさえすれば良い。
産官学と一緒にあって起業家を育てていく。
シャッター街となっている商店街のシャッター数を減らせるように、出店する人に支援する。
鳥取駅前を中心とした活性化と観光業の活性化。例えば駅前広場で屋台村(トイレもできる)や様々なバリエーションの観光お勧めルートの提案。人数、関係性、年齢等様々なバリエーションを用意する。鳥取市に泊まりたいと思うようなルートづくり。
低所得者への充実な支援、企業への低賃金・過剰労働の廃止の徹底・管理と最低賃金の底上げ。
どこの企業でも職業斡旋するのではなく、ブラックとホワイト企業の徹底調査をした上で職業の斡旋をしてほしい。就職してもブラック企業だと長続きできなくなるため。そのような企業を紹介されるのも信用に関わるのではと思います。
子どもの時から、各種行事への参加を増やす。
県民が県内就職する際の支援・相談などを行う必要がある。
地域おこし協力隊を増やす。
ハローワークの求人を見ても、何を自分がするのかわからない。企業の説明会予定をハローワークのHPに載せてほしい。大規模な説明会の中で25歳以上が新卒の中に入るのは苦痛ではないかと思います。
老人施設と幼児施設の融合。
経済再生など、難しいことはわかりませんが、コストコや大型アウトレットモールがあれば鳥取道を利用した近隣他府県からの来客が増えると思います。デメリットも多いと思うので難しいと思いますが。
企業の誘致を積極的に行うなど、土地のある田舎ならではの活用方法が良いと思う。
企業進出頼みだけでなく、自然環境を生かし第一次産業で個々が生活できる仕組みづくり。その他バルコスのような地方から世界へ進出する企業を応援し、そのような人材を発掘し起業支援をする。
独自の奨学金制度。(鳥取県の行っている奨学金返済補助ではなく)地元就職すれば返済免除する。
天下り制度で何もせずに給与をもらうような年配者が多いので人件費の無駄遣い。一刻も早く天下り制度をやめて若い人にどんどん仕事の活躍の場を増やしていくべき。
”仕事のための生活”ではなく”生活のための仕事”になるよう、どのような職種についても改善が必

要に思う。長く同じ仕事に従事できるよう支援や指導、監督が必要。若者世代とベテラン世代では「仕事」というものに対する考え方に大きな違いがある。
高齢化、独居高齢者の増加もあり、既存の介護保険制度のサービスではカバーできない部分が増えており、その辺りをカバーできる仕組みづくりや仕事にしていけたら良い。大企業の誘致も大切だが、地域の人が地域の中で支え合い最後まで自分の思い通りに生きていける仕組みづくりをして欲しい。
骨子（案）、どれも重要なことですが、美辞麗句にならないようにできること、できないことに優先順位をつけることが重要です。
人口が少ないので産業が発展していないのは当たり前。人口を増やす策を考えることが先決と思う。
知恵を持った人材の掘り出し。小手先ではできないと思います。
Uターン・Iターンした人材が持つスキルを生かせる職種の確保。賃金の地域格差の解消。
継続して雇用される（正社員）産業を育成して欲しい。

(15) ③賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’では「独自産業を生かした交流推進」、「移住定住による人の好循環化」、「住み良い環境づくり」などに関する施策を盛り込む予定です。これに関して取り組むべき施策や事業等について、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

田舎への移住には地域のしがらみ等があり抵抗がある。この点について改善すべき。
休日を楽しく過ごせるイベントを開催。現在も開催されているが学生の認知度が低い。若い世代へのアピールが不足している。
無理に賑わいを創出しなくても良いのではないかと。誰もが安心して暮らせるまちというのは、落ち着いたまち。普段は知らん顔でも何かあった時に助け合いのできるコミュニティづくりができれば良い。
高齢化に対応した施策を希望します。
今後、約200億円づつかけて整備する市庁舎、ゴミ焼却場とその影響で起こる市街地空き家対策の遅延（リノベ&廃棄）が喫緊の課題だと考えます。大型整備で建てた後、運用民間委託で継続的雇用対策に有効活用できるようにご配慮ください。
I・Uターンへの補助制度の充実&広報活動。
「雇用の拡大→所得の増大→人口増」の好循環を、格差縮小を意識しながら推進願いたい。
公共交通の運賃の低下と、路線の増加。自己中心的思考の改革。娯楽施設の増加。
独自産業の市民へのアピールと県内外へ移住定住への説明と支援。
移住してきた方に安い住まいを提供する。
移住など全国的に取り組まれているが、鳥取の良さをもっとアピールすれば良い。
地域に溶け込みやすいようにイベントを開催してほしい。（駅前やバードハットはもちろん、殿ダムなどの山や自然、地域の人を生かした事業）
環境に配慮したまちづくり。禁煙エリアの拡大、公共交通機関の充実、自転車道の整備、駐車場、駐輪場の整備、再生可能エネルギーの積極活用。
移住定住の前に、鳥取に住んでいる人が住み良いまちだと思えるようになってない。

<p>私の住む浜村には以前の活気をなくしたであろう浜村温泉があります。また浜村海岸が有りますが、入れるのか分かりません。昭和のような街並みの居心地の良さやその風情も心地良いですが、どことなく寂しげです。近くのヤサホーパークでは毎週土曜日にオーガニックマーケットが開催されています。こちらでは地元の店舗がイベントで出店され、地元のもの、ひとに触れることができます。こういった取組はとても素敵だと思います。今後もこのようなイベントが昔ながらの鳥取の良さと共存(整備された状態で)される形で増えてくれることを期待します。</p>
<p>鳥取市外部からの人材を呼び込み、定着し、力を発揮していただくための施策が必要であると思う。 (一例)一定基準を満たした場合、住居、職場等の受入側に公的な経済的援助を行い、結果として移住者の負担を軽減する。</p>
<p>鳥取市は住みやすいと思うが、悪天候の日の多さが鳥取から引っ越したいと思う一番の要点。雨でも強風でも活動しやすい施設を増やしてほしい。</p>
<p>移住者への車の貸し出し。(期限付き)</p>
<p>Uターンを考えている人への支援をもっとアピールする必要がある。</p>
<p>特徴・魅力がわかる施策が欲しい。文章ではわからない良さがここにはあると思う。最近感じるが、意外と若者がいる。また、海士町長と話す機会があったが、お役所からの脱皮を自ら意識し実行することをお願いします。</p>
<p>移住して来られる人への税金等の優遇。</p>
<p>日本一人口が少ない県だからこそゆったり暮らせるなど、田舎ならではのメリットを都会にアピールして移住定住者を増やすべき。</p>
<p>ハード面とソフト面が必要ではないかと思う。</p>
<p>たくさんでできるギネス記録挑戦など、誰でも参加できるイベントをする。</p>
<p>鳥取が何も先頭を走る必要はありませんが、鳥取の若者が「将来に対して何を地域に期待しているか」、「不満は何か」などを知る機会をつくる必要があると強く考えます。</p>
<p>私たち夫婦は移住定住者ですが、移住は簡単ですが、定住は難しいと思います。特に環境の良さだけでは定住は難しく、経済的な安定が大切だと思っています。</p>
<p>現在も行っている移住定住をさらに進めていく。</p>
<p>他地域から住みたいと思わせるようなまちづくり。</p>
<p>交通機関の充実。</p>
<p>鳥取に移住した場合のメリットを宣伝して若者の定住者を呼び込むことが大事だと思います。</p>
<p>空き家を提供し、Uターンを進める。定職がない若者に、空き畑・土地を提供して農業などが行えるようにする。</p>
<p>年寄りとは別として、若者が魅力を感じる活力ある賑わいを創出できれば良いですが、残念ながら市が主導せざるを得ません。</p>
<p>我が家から子連れで歩ける範囲に児童公園がない。遊具がいくつもなくて良いので、アスファルトではない所で安全に遊ばせられる場所が点々とあると助かる。</p>

<p>県外者の移住を多くした方がいいと思う。空き家対策。</p>
<p>現在、自然環境が豊かな鳥取市は、それだけでとても魅力ある地域だと思います。現在、多くのIJUターンの方がおられますが、特にリターン者には少し違った移住支援を行っていただけると良いと思います。地元に戻ってくるきっかけにもなり、県外に出た地元の人間は、IJターナー者より地域を思い(今まで郷土愛を育てた分)地域の発展に寄与してくれると思います。また、子どもが帰ってくるということで一人暮らしのお年寄りが少しでも減るのではと思います。</p>
<p>昔のまちの賑わいの復活～郊外のモールにないまちづくりを考えたい。</p>
<p>中心市街地の空き家が目立つ。行政と不動産オーナーの努力がもっと必要。</p>
<p>まず、増え続ける諸税を削減すること。そのために必要のない道路工事、箱物の建設、議員の報酬カットを実施し、鳥取市に住みたい魅力づくりを考察すべきと思う。</p>
<p>移住定住を推進するには、それなりの魅力がなければならない。子育て世代を中心とした若い世代に来てもらうことを考えると、子育て支援や産前・産後の母親ケアなどを充実させることが効果的だと思う。</p>
<p>県外の若者夫婦が安心して鳥取に移住し、生活できるよう、その基盤整備を図ること。</p>
<p>賑わいにあふれた‘まちづくり’は、単に人口・イベントの数が多ければ良いというものではなく「質」に軸足を置くべきです。豊かなコミュニティを形成することを可能にする施策が必要です。公民館の機能を充実・発展させていくような、ハード・ソフトに渡っての施策を望みます。</p>
<p>鳥取砂丘に若い人が来てくれたら良いと思います。きちんとした管理の下でドローンを飛ばし、冒険的なことができれば他地域との差別化が図れると思う。少々ハメを外すと全部禁止事項になってしまうのでは元気な若者は来ません。遊園地や企業誘致より話題になると思います。</p>
<p>自然環境を生かし県内外からの参加を募るイベントの企画を毎年行う。例) パラグライダー、気球、ビーチバレー等の大会、音楽フェスタ等の野外ライブ、ジオパークウォークラリー、鳥取グルメフェア</p>
<p>県外出身の鳥取大学、環境大学、看護専門学校等の卒業生を鳥取で就職させるための経済活動の確保。</p>
<p>快適なシーズンだけでなく厳しい冬でも山陰の良さを本当に体感できるよう、冬にこそ考えるべき事があると思います。</p>
<p>県民、市民、企業にアイデアを出し合える環境を提供することだと思います。</p>
<p>地産地消をもっと強化することが重要。地産地消は、間接経費を省き、生産者と消費者の顔が見えるため、商取引だけでなく対人間の絆が築けます。鳥取市は自然の豊かな所で、自給自足も夢ではない。</p>
<p>地域単位への補助金。</p>
<p>移住対策については、移住者への優遇策をさらに踏み込んでほしい。移住者に「これはすごい」、というメリットを感じさせれば、効果は出てくると思うが、今のままでは一時的なものになる。</p>
<p>交通機関の充実。バス、電車の本数を増やすか、市営バスを走らせる。</p>
<p>6次産業支援。自然の魅力に溢れて心休まる地域なのに、都市圏へのアクセスに優れていること。街の集約化。</p>
<p>観光名所の創設や活性化・情報提供リピーターや移住を決めるほどの「インパクトある“まちづくり”」 「経済状況が良く安心して就職できワーク・ライフ・バランスを保てる安定地域づくり」が必要。</p>

<p>シャッター街の有効活用化（例 鳥取らしさをアピールした街並みや雰囲気づくり、シャッター街から鳥取城跡までの道のりの活性化）など、外見だけでなく中味も含め、鳥取をアピールしたものに取り組むと良いと思います。</p>
<p>鳥取市内では、公共交通機関を利用する人が少ないような気がします。近くへ出かける場合でも車を使う方が多いと思います。自転車道の整備し、クリーンで住み良い環境づくりをしてはどうか。</p>
<p>他地域との交流増加。（情報発信など）</p>
<p>高齢者向けの住宅やサービスを充実すべき。</p>
<p>若桜街道に活気がない、誰もが行きたくなくなる商店街づくりをしてほしい。</p>
<p>街中にも空き家や景観を損ねる箇所が多く見られます。リノベーションや買取、改築などを行政に積極的に勧めて欲しいです。綺麗な学校は荒れないといえます。町内も綺麗だと自分の家も気をつけます。</p>
<p>コンパクトシティとして住居を市内に集中する。農村部について、ライフラインは最小限に、市内に移住し、農業は株式会社化し、働きやすい環境をつくる。</p>
<p>私自身、1年半鳥取市に住んでみて、とても住みやすく定住したいと感じます。住宅の広告を見ても安いと思うし、光熱費も安いと思います。冬は豪雪かと思っていましたが、不便を感じるほどでもないです。過去には地震などの災害もあったようですが、比較的自然災害も少ないと思います。被災地からの移住や定年後の移住が多くあっても良いと思います。そのための移住者に対する優遇や、仕事の斡旋を市が窓口になる等のウエルカム感を出す必要があると思います。農業してくれる人を募集し住宅を提供するといったことをしているまちがあるとテレビで見たことがあります。鳥取市も梨園やらっきょう畑、スイカ畑、長芋もたくさんあるのでいいと思います。</p>
<p>鳥取市は良いまちだと思う。しかし永住したいとは思わない。転入前は子育てに力を入れているから住みやすいだろうと思っていたが、他県より学校給食費は高く、学校保険などの補助もない。（前にいた市ではスポーツ振興センター掛金は市が全額負担していた）何となく目に見える部分だけの支援に思える。これでは大学を機に県外へ転出し、他県の魅力を知り、そのまま人口流出するのわかる。県内で様々なことを推進するのは必要だが、他県の支援も参考にすべきだと思う。</p>
<p>買い物難民の解消、地域で食料品を自給できる仕組みづくり。</p>
<p>コンパクトシティは幻想。コストパフォーマンスの良いインフラ整備を。</p>
<p>行政への意見を積極的に市民から受け入れる仕組みが不可欠です。市役所に意見箱は無く、用紙すら受付の後ろに隠してあり、その旨を伝え初めて裏から記述用紙を差し出す閉ざされた行政にしか見えません。この様なアンケートも勿論 OK ですが、市民の目にとまる場所に意見箱を設置し、誰もが気付いた時にいつでもコメントできる環境が不可欠と感じます。</p>
<p>空き店舗が非常に多いので安価で利用でき、人が集まるような空間づくりに繋げて行ってほしい。</p>
<p>永住を望まれるような環境づくり、また住宅に関する支援（新築への支援等）を充実し、分かりやすく広報してほしい。必要なもの（商業施設や駐車場、公共施設等の設置）は積極的に取り入れ・開発し、無駄な事業をしないようにしてほしい。</p>
<p>空き家問題の解決を図るために、鳥取市独自の法整備をしてほしい。</p>
<p>骨子（案）いずれも重要ですが、基本構想、基本計画、実施計画の段階で市民等の要望なども取り入れ</p>

幅広く協働で実施した方が良い。
災害が少なく、治安も良いので、仕事さえあれば住みやすいまちだと思ふ。
賑わいは一過性で終わることが多いので、100年続く地に足のついた事業を考えないと多くのムダを生み続けます。
空き家などを利用した住宅設備の積極的な提供。
車を持っていないと通勤通学が不便なのでバス路線を増やして欲しい。